令和8年8月7日
一般社団法人神奈川県剣道連盟

第５１回　神奈川県母子剣道大会並びに神奈川県東西対抗剣道大会 開催要項

１　目的

母子剣道大会は、日頃地域で剣道に取り組んでいる母親と子供が一緒に出場する大会です。母と子（小学生、中学生）が１チームで試合を行い優勝を目指して、お互いの技を競い、その向上につとめて剣道の普及、発展を図るものです。

東西対抗剣道大会は、神奈川県内の剣道高段者が東軍、西軍に分かれて試合を行います。選手は各支部推薦者の中から、段位毎の人数など考慮の上、選考し決定します。選手相互が技を競い、その向上につとめて剣道の普及、発展を図る大会です。

２　日時

令和８年１０月１２日（月・祝）

母子剣道大会　　受付　　９：００～　９：２５　開会式　　９：３０

東西対抗剣道大会 受付　１１：４５～１２：１５　開会式　１２：３０（予定）

３　会場

神奈川県立武道館

４　主催/後援

神奈川県剣道連盟／神奈川県スポーツ協会・神奈川新聞社・ｔｖｋ（予定）

５　試合順番

母子剣道大会　　小学生低学年（１・２・３年生）の部
小学生高学年（４・５・６年生）の部
中学生の部　　計３部門

東西対抗剣道大会

６　試合方法

母子大会

試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則による

母子１組２名の対抗試合とし、トーナメント方式とする

対戦順は子対子を先に行い、母対母を後に行う。

子供は、小・中学生とし、性別、段級位の制限はない。ただし、母は小学生低、小学生高、中学生のいずれかとする。（母は、複数の部門には申し込めません）

試合時間は、母子、共にに２分３本勝負とし、時間内に勝負が決しない時は、引き分けとする。同点、同本数の場合は、代表者戦を行う。

代表者戦は、抽選により子対子か母対母とする。一本勝負とする。試合時間は２分１本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。尚、延長に入ってからの試合時間は２分区切りで勝敗が決するまで継続する。

東西対抗

試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則による。

対抗試合とする。

試合時間は、３分３本勝負とし、時間内に勝負が決しない時は、引き分けとする。

東西の勝敗が決しない場合は、あらためて大将同士で代表者戦を行う。代表者戦は１本勝負で、時間を区切らず勝敗が決するまで行う

監督選手の選考方法　選考委員会は神奈川県剣道連盟にて行います。選考された選手は後日県連ＨＰに掲載します

選手の出場については必ず本人の承諾を得ること

出場資格　神奈川県剣道連盟の会員であり、指定の段位を有する者。

東西の区分は下記表の通り（平成３０年幹部会にて了承済）

東軍	横浜市の各支部（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、保土ケ谷区、磯子区、金沢区、港北区、戸塚区、泉区、栄区、港南区、旭区、瀬谷区、緑区、青葉区、都筑区）、川崎市
西軍	横須賀、平塚市、鎌倉、藤沢市、茅ヶ崎市、中郡、小田原、相模原、秦野市、厚木、大和市、海老名市、津久井、座間市、伊勢原市、綾瀬市

上記の区分は前回大会のものです。選手の申込状況によって一部変更することがあります

チーム編成について

① 監督１名、選手は以下の区分けで３６名、計３７名とする。
② 女子選手は五段３名・六段２名・七段１名の計６名。
③ 男子選手は五段１０名、六段１０名、七段１０名、計３０名。
④ 五・六・七段の各段毎に警察官１名を入れる。（警察官は住所で東西に分ける）
⑤ 出場順位は、女子・下段者、次が年齢順とする。
⑥ 補員は設けない。
⑦ 選手候補を各支部より必ず１名以上推薦するようお願いします。

７ 表彰

母子は各部門毎に、優勝、準優勝、３位（２組）、敢闘賞（４組）を表彰する
東西は優勝チームには賞状、選手にはメダルを授与する。
東西の優秀選手には優秀選手賞を授与する。

８ 会場係員

栄区と横浜市以外の全１７支部から１名ずつお願いします。なお係員には大会開始前の設営から大会終了後の跡片付けまで終日御足労をおかけします。終日ご参加可能の方の派遣をお願いします。

９ 参加料

支部にてとりまとめ、参加料母子一組あたり**１，０００円**を納入願います
（東西は参加料は不要です）
ゆうちょ銀行から振込む場合（通信欄に内訳を記載してください）
口座記号番号　００２８０－６－１４５４５５
口座名称　大会委員会神奈川県剣道連盟（タイカイイインカイカナガワケンケンドウレンメ
ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合
店名（店番）０２９（ゼロニキュウ）店（０２９）
預金番号　当座　０１４５４５５
入金を証明するものと申込書を事務局までメールにて申し込みしてください。申込なしの場合でも、なしと記載し、申込書を送付してください。

１０ 申込締切日

９月１１日（金）１２時厳守

１１ 選手変更

選手変更は９月１１日の申込日までとし、それ以降の変更は不可とします

１２ 注意事項

出場選手は所属支部名の名札を垂につけてください
主催者は、医師を配置しますが応急手当以外の責任は負いません。
マイナ保険証もしくは資格確認書は必ず持参してください。
主催者は、傷害保険に加入します。（疾病等には適用されません、ご注意ください）

１３ 撮影等

ビデオ等の撮影は全剣連の方針（『大会等におけるビデオ撮影等について』）に準拠します。なお、主催者は大会のビデオ撮影等並びに撮影映像等を大会ホームページ上に掲載することがあります。掲載を希望しない場合は主催者にご連絡ください。

【剣道用具の取り扱いについて】

大会・予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

(１)竹刀については次の事項を遵守すること。

●竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より 8ｃｍのちくとう部対角直径値)は、表 1、表 2 および図のとおりとする。

●ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は

(2)小手については次の事項を遵守すること。

●小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の 1/2 以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

●小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が 2.5ｃｍ以内である。

(3)面については次の事項を遵守すること。

●面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4)剣道着については次の事項を遵守すること。

●剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

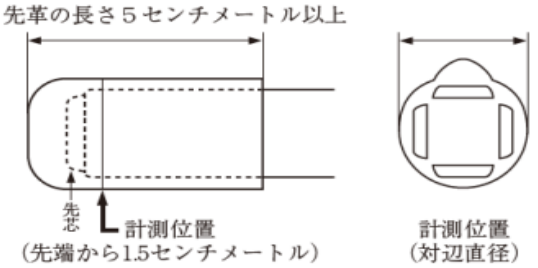
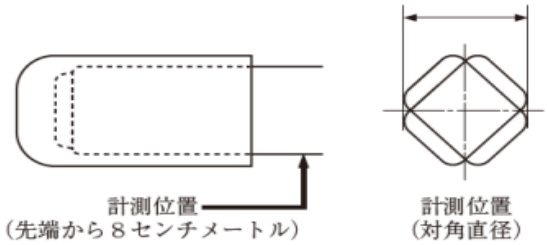
	対　象		中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通		114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男　性		440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女　性		400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 竹刀の基準 (二刀の場合)

	対　象		大学生・一般	
			大　刀	小　刀
長さ	男女共通		114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男　性		440グラム以上	280～300グラム
	女　性		400グラム以上	250～280グラム
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

図　竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>



<ちくとうの最小直径値の計測方法>